

# 危機管理委員会

委員長 岡田 和幸

副委員長 辻 隆志

2011年の東日本大震災より10年、メディア等で改めて地震による被害の大きさと災害に対する危機管理を再認識された方も多いと思います。

南海トラフ地震についても気象庁の南海トラフ地震に関する情報で「南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から既に70年以上が経過していることから切迫性の高い状態です。」とあります。

香川県は自然災害が比較的少ない県と言われていますが、台風や豪雨災害による被害も年々増加し、「50年に一度」「観測史上いまだない」といった言葉を毎年のように聞くようになりました。

さらに昨年からの新型コロナウイルス感染症による社会生活への影響も一昨年の時点では想定していない状況だと思えます。

## 活動計画

危機管理委員会としては、大震災、台風、集中豪雨や洪水等の風水害、感染症等の不測の事態に見舞われた状況で、会社や店を継続させ従業員や家族を守り取引先からの信頼を維持するために、緊急時に行うべき行動や、緊急時に備えて平常時に行うべき行動をあらかじめ整理し取り決めておく「事業継続計画（BCP）」の策定・運用についてセミナーを開催したいと考えています。